



思っています。私の本業であります会社には社員約40名が、そのそばで生活させていただいているわけですから、恩恵に預かっています。ぜひこの機会に私どもも努力させていただいて、そしていいイベントにしていきたいなと思っています。

藤森 森本さんの所にはいろいろな観光客の方がお店にお越しになって、いろいろなことをお話されていると思うのですが、そういう方の意見とかも結構あるとは思いますが、体験話も含めて、お話しただければと思うのですが。

森本 今までそば祭りに関しては、自分のお店もやっているのですが、ちよこちよこつと行ったりすることもあるのですが、お客様の話を聞くと、会場内に落ち着く場所がないのであずましくないということという方が多いです。食べたそばの味を聞くとすごく美味しかったと言ってくれます。そば祭りのようなイベントを続けていくのなら、高齢者や女性や子供たちが落ち着いて食べられるような会場作りだったりとか、おもてなしといった部分とかを充実していければ、良い祭りになると思います。最近では若い人も好きな人は多いけどまづは、そばといえは高齢者の方が好まれる方が多いし、楽しみにさ

くらいでさ、家の前に停められても目くじら立てないと思うんだよね。

藤森 町民の協力は本当に必要だと思いますよ。

村田 森本さんが言ったようにいろいろな団体、ボランティアの団体に協力してもらって、町民みんなでやるようなスタイルでこのそば博覧会を運営しないかね。新そば祭りだけだったら、今までの実行委員会のスタイルでいいけど、博覧会となるとまったくね、それまで博覧会をやったことがある人がいないからわからんけど、おそらく規模がまったく違うと思うから、簡単なスタイルでいいから、町民みんなが協力してくれればいいんじゃないかと思う。

れている方は年配の方が多いと思うので、新得町は福祉の町でもあるし、そういった方たちにとどういったおもてなしをするかということもしていければ良いものになるのではと思います。

結構、女性の声っていうのは大事だと思えます。私の周りにもいろいろなサークルに所属している方もいますし、私も顔を出したりしているのですが、イベントの時にちよつと手伝ってねと言つて「いいいいよ」って言ってくれる方も多いので、今からでもそういった方々に、いろんな町民に参加していただけるように声かけをしていった方がいいかと思えます。私もそういった方たちに、今からそば博の日は開けておいてと声かけをしています。それがわたしにも今の段階でできるお手伝いかなと。今回のそば博の予算が今までの4倍くらいになると思うのですが、なるべく一人でも多くの町民に恩恵があるようにボランティアも有償でやってもらおうとかね。みなさんに関わっていただくような仕組み

より多くの町民の皆さんが関わられる仕組み作りが必要

み作りが大切だと思います。宣伝ということであれば、新得の駅は特急が常に通りますよ。1時間くらいに1本は特急が6両編成だとして何百人の乗客が乗っているとして、列車側から見れる駅舎の壁面が勿体無いスペースだと思いませんか。駅舎はJRの持ち物ですけど、商工会は町の建物ですよ。であれば商工会の壁面に「日本そば博覧会開催」みたいなものを出しておけば、列車に乗っている人たちは、何気に見ることも多いと思うんですよ。新得でこんなイベントやるんだって頭の片隅に残るような宣伝の仕方もあるんじゃないかなと思います。テレビや新聞などの媒体を使うだけじゃなくて、そういったことも方法の一つかなと思います。

根本 どう宣伝していくのかはいろいろあるけど、勝毎さんも道新さんももしっかりバックアップしてくれるという話だったので。今後メディアを使っていくんですよ？

藤森 そうですね。やっぱりテレビなども踏まえて、宣伝も今からやっていかないと遅いと思います。

根本 例年、新そば祭りでは会場周辺の路上駐車が多い。自分の家の前にも路上駐車されて家に入れない



いこともありましたけどね(笑)

会場周辺に路上駐車されても、付近の住民の方々はこの駐車は新そば祭りのお客さんなんだなということ、ある程度理解はしてくれている。でも、今年のそば博覧会は規模が全然違うと思うので、もっと町民に宣伝して告知していかなければならぬと思うし、その方法もどうやるのかなと。うちの会社の車に、いついつ開催ってイベントするのも一つかなと。

清水 キンキョウさんの車は、毎日回ってるからいいかもね。まずは町内の人たちに理解してもらわなければね。これからのいろいろな広報をする時に、多少、道路に駐車されるかもしれないけどご理解くださいとか書いておけば、そういえば広報に書いてあったなって

るんですよ。世界各国での食べ方の研究なんかもして、新得に行ったら麺以外にもそばを使いたいような食べものがあるぞというようなこともあってもいいんじゃないかなと思います。そういうのも町の活性化に役立つのかと。

藤森 森本さんの所も、そばガレットとかありますけど、他にもそばクレープとかいろいろなそばスイーツもありますよ。そばの麺での食べ方プラス何かですね。

柴田 福島県の大内地区なんか行ったらそばがでてきても箸が無くても、どうやって食べるのかなと思つたら、横にネギがあつてネギを箸代わりにしてそばを食べるんですよ。

清水 その長いネギをちよつとずつ食べながらね。

村田 麺ばかりでなくて、ケーキだとか、そばのスイーツとかあつと、ソフトクリームとかいろいろ方法があるんだけど、新得はちよつと足りないなあと思うんだよね。お祭りだとポテトサークルさんあたりは、そばケーキとかつてそば粉を入れてケーキを作つたりして、売ってるんだけど、けっこう売れるんだつて。そばのイベントでこちらでは麺を出しているけど、もう一方ではそば粉を使つた、例えばそばクレープだとかそういうも

のをバンバン売って欲しいなって。そば博覧会でも、そばばかり売つて、わんこそばで食つたりするのもいいけど、そばクレープを作つて行列を作らさずとか、そば粉でいろいろなものを作れば幅が広がるよ。

藤森 私も新得に来てスイーツが無いなっていうのがあったので、そば粉を使つたそういうものが、もつとあれば良いですよ。

清水 今回のそば博覧会はオール十勝だつて言つてたけど、近隣の町村で、そば博覧会を新得でやるつて言つと、「新得にやられたな」つて言つた町村があるそう。そばの歴史から言つたら、十勝管内の町村のほとんどでそばを作つていた。それが先ほど言つたように経済的な関係でだんだん切り替えていった。新得はこまで残つた。これはやっぱり農協も頑張つてくれた。いろいろ企業のものも考えていると、たぶん食べさせたくても、胃袋もだんだんだんだん減つてきて、新得のそばを食べるといだけじゃダメで、ぜんぜん逆の発想で物事を考えてやつかないか。新得の町のおそば屋さんも観光客とどうやってつないでいくか。来たら手打ちの道具一つくらい持つて行って、そこで観